

ウェルBOX-右京

発行／社会福祉法人 京都市右京区社会福祉協議会

右京区ボランティアセンター

京都市右京区太秦森ヶ前町22-3 TEL 075-865-8567／FAX 075-865-8569

発行人／高屋 宏章 編集人／玉置 すみえ

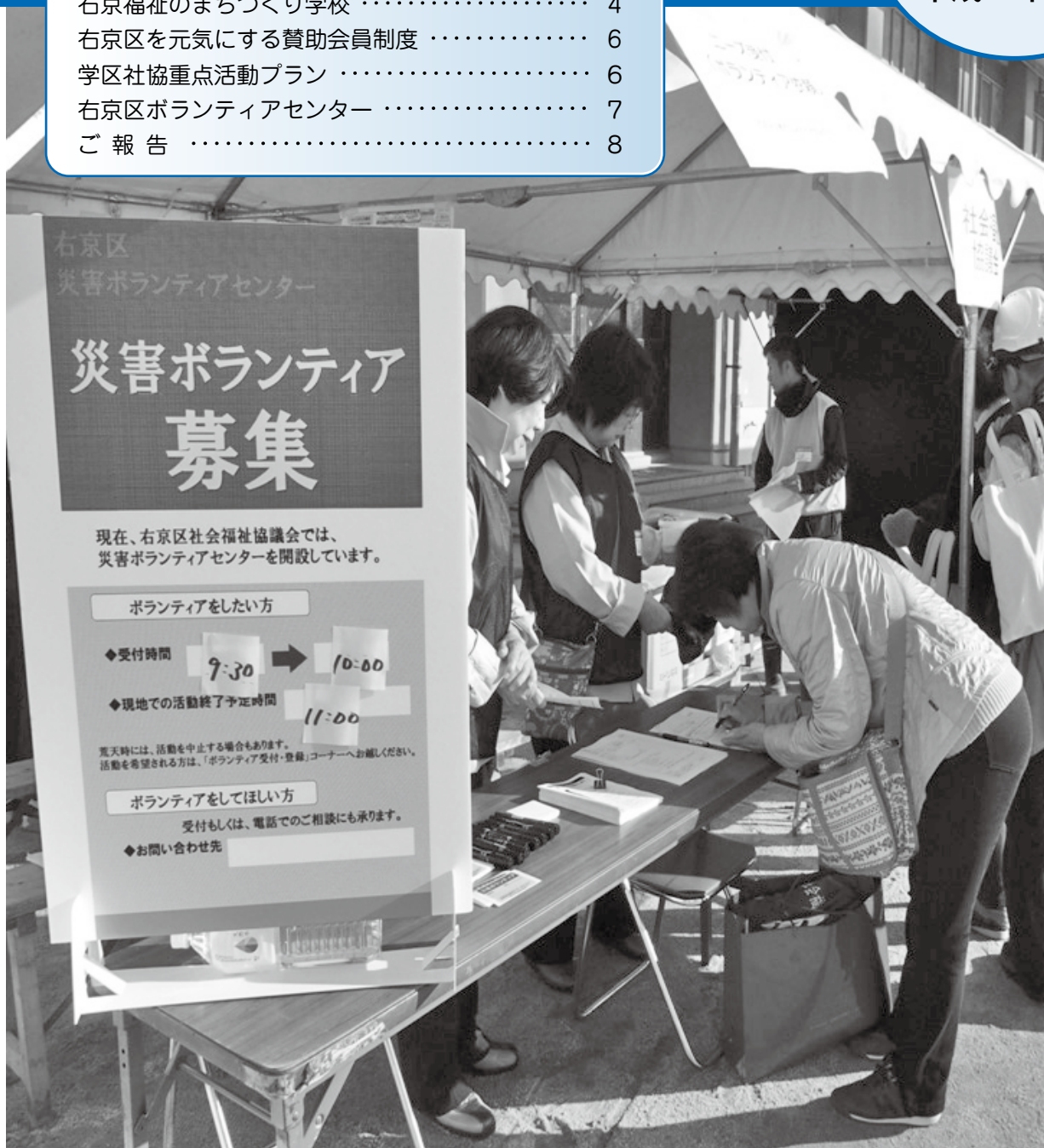
URL ; <http://www.ukyoku-syakyo.net> / E-mail ; info@ukyoku-syakyo.ne.jp

目次

新役員のお知らせ	2
平成27年度 右京区社会福祉大会	4
右京福祉のまちづくり学校	4
右京区を元気にする賛助会員制度	6
学区社協重点活動プラン	6
右京区ボランティアセンター	7
ご 報 告	8

第25号

平成27年11月



会長



高屋 宏章(太秦社会福祉協議会)

新役員のお知らせ

去る9月4日に開催された右京区社協理事会において任期満了に伴う役員改選がおこなわれましたのでお知らせいたします。
任期は平成29年9月3日まで。

カッコ内は選出団体

副会長



寺本 演夫
(社会福祉法人 嵐山寮)



菊池 初江
(南太秦社会福祉協議会)



船越 郁正
(右京区民生児童委員会)



大藤 文夫
(西院第一社会福祉協議会)

理事 16名

高屋 宏章	太秦社会福祉協議会
菊池 初江	南太秦社会福祉協議会
小西 孝	嵯峨社会福祉協議会
中村 健治	宇多野社会福祉協議会
大藤 文夫	西院第一社会福祉協議会
野宇 博治	西京極社会福祉協議会
谷田 兼男	梅津社会福祉協議会
藤原 初雄	京北地域社会福祉協議会
船越 郁正	右京区民生児童委員会
大西 賢市	共同募金会右京地区支会
寺本 演夫	社会福祉法人嵐山寮
芹澤 出	母子生活支援施設 野菊荘
齋藤 長景	右京区老人クラブ連合会
西澤 昭造	右京区肢体障害者協会
田代 博	右京医師会
木村 和彦	右京区 副区長(福祉部長)

監事 3名

石田 公和	保育園長会(嵯峨野保育園)
山下 澄	右京区自治会連合会
俣野 健司	公認会計士・税理士

顧問 1名

西田 哲郎	右京区長
-------	------

参事 4名

村中 俊文	右京区 副区長(地域力推進室長・区民部長)
木村 和彦	右京区 副区長(福祉部長)
村上 宜男	右京区 副区長(保健部長)
田中 泰介	右京区 まちづくり推進課長

(敬称略・選出団体)

評議員 33名

田中 藤江	常磐野社会福祉協議会
正善 哲士	嵯峨野社会福祉協議会
田邊 和己	安井社会福祉協議会
柳本 久雄	山ノ内社会福祉協議会
小笹 泰男	西院第二社会福祉協議会
藤田 比沙子	葛野社会福祉協議会
鳥羽 進	北梅津社会福祉協議会
今堀 三郎	広沢社会福祉協議会
森 一応	嵐山学区社会福祉協議会
上田 裕也	水尾社会福祉協議会
岡本 治雄	宕陰社会福祉協議会
辻井 義幸	花園社会福祉協議会
丸野 保雄	御室社会福祉協議会
廣田 喜次	高雄社会福祉協議会
小林 一太	右京区民生児童委員会
射場 和子	右京区民生児童委員会
岡本 洋志	共同募金会右京地区支会
木村 信哉	右京区保育園長会(太秦保育園)
宇野 真理子	右京ブロック委員長(太秦児童館)
久門 誠	Uネット(重度通所介護じゅらく)
溝口 武美	北桑会 豊和園
北村 裕喜子	京都府視覚障害者協会右京支部
田中 かをる	京都手をつなぐ育成会右京支部
白波瀬 豊蔵	京都市中途失聴・難聴者協会右京支部
三上 雅司	右京区保健協議会連合会
市田 悦万	日赤右京区地区奉仕団
荻野 秀樹	京都市右京歯科医師会
中川 恵美子	右京区地域女性連合会
杉本 健一	右京区保護司会
進士 保	右京区ボランティアグループ連絡会
村上 宜男	右京区 副区長(保健部長)
村中 俊文	右京区 副区長(地域力推進室長・区民部長)
吉田 不二男	右京消防署長

就任ご挨拶

錦秋の候 皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて 私ども 本年9月4日付、右京区社会福祉協議会会長並びに副会長に就任しました。もとより微力ではございますが、(故)原健前会長の教示を受け継ぎ、地域福祉に携わる多くの方々の御智慧をいただきながら、役員一同連携を深めチームワークを大切に地域福祉の一層の発展に努力してまいりたい所存です。どうかよろしくお願い申し上げます。

区社協法人化から今日まで、原前会長は本会の礎を築きあげると共に、常に地域の発展と共存共栄のまちづくりに思いを致し、繰り返し地域福祉を担う方々への感謝の思いを発信してこられました。

当法人は「誰もが一人の人間として尊重され、安心して暮らせるまちづくり」を理念に掲げております。子育て、障害のある人、高齢者のみならず、生活に何らかの支障を抱える方々への支援など、社協が取り組む課題は幅広くなりました。日々連続する暮らし、様々な人が共存する地域社会で起きる福祉課題について、少しでも早い気づきと支援が求められます。

社協活動はそれらに向き合い、何とかしようとする地域の力を結束し、出会いの機会づくりや絆づくりを通して福祉の風土を築いていくことにほかなりません。新体制の出発にあたり、これまでに増して皆様の御支援ご鞭撻を賜りますよう、切によろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 京都市右京区社会福祉協議会

会長 高屋 宏 章

副会長 寺 本 演 夫

副会長 船 越 郁 正

副会長 菊 池 初 江

副会長 大 藤 文 夫

平成26年度 右京区社協決算報告

【資金収支計算書】

(自) 平成26年4月1日 (至) 平成27年3月31日

区社協本部拠点区分

単位：円

勘定科目		合 計		
		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動による収入	会費収入	17,520,000	17,124,703	395,297
	寄付金収入	1,630,000	11,060,000	△ 9,430,000
	経常経費補助金収入	37,443,000	37,708,369	△ 265,369
	受託金収入	36,897,000	37,009,890	△ 112,890
	事業収入	2,740,000	3,171,160	△ 431,160
	受取利息配当金収入	341,000	277,710	63,290
	その他の収入	470,000	644,453	△ 174,453
	事業活動収入計 (1)	97,041,000	106,996,285	△ 9,955,285
	人件費支出	52,370,000	51,855,599	514,401
	事業費支出	13,249,000	12,192,926	1,056,074
事業活動による支出	事務費支出	3,138,000	2,651,372	486,628
	助成金支出	28,494,000	28,514,236	△ 20,236
	負担金支出	120,000	100,000	20,000
	その他の支出	0	0	0
	事業活動支出計 (2)	97,371,000	95,314,133	2,056,867
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		△ 330,000	11,682,152	△ 12,012,152

勘定科目		合 計		
		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
施設整備等による収入	収入 施設整備等収入計 (4)	100,000	100,000	0
	支出 施設整備等支出計 (5)	1,473,000	1,471,701	1,299
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 1,373,000	△ 1,371,701	△ 1,299
その他の活動による収入	収入 その他の活動収入計 (7)	1,131,000	1,215,756	△ 84,756
	支出 その他の活動支出計 (8)	5,000	7,619	△ 2,619
	その他の活動収支差額 (9)=(7)-(8)	1,126,000	1,208,137	△ 82,137

予備費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	△ 577,000	11,518,588	△ 12,095,588

前期末支払資金残高 (12)	34,080,780	34,206,780	△ 126,000
当期末支払資金残高 (11)+(12)	33,503,780	45,725,368	△ 12,221,588

平成27年度 右京区社協の重点課題

1. 生活支援サービスの実態把握と個別支援の取組強化
2. 新しい助け合い活動の担い手養成・地域支援の充実強化

地域の福祉活動に使われています。

助け合い事業のサポーター 赤い羽根共同募金

皆様のあたたかいご協力をお願い申し上げます。

10月1日▶12月31日

共同募金は地域の福祉活動の大事な財源となっています。皆様からの貴重な募金は、京都府共同募金会に集約され、高齢者、障害児者、子育て支援、住民全体の福祉活動に助成されます。内訳は、生活支援事業や社会参加支援事業、ボランティア活動や広報などの総合福祉事業などです。本会も平成26年度は、8,994,209円の配分を受けて、各々の活動に助成しました。

今年も10月1日より赤い羽根共同募金運動が展開されています。引き続き、共同募金へのご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。



寄付金コーナー

右京区の地域福祉発展のため貴重なご厚志を賜り誠にありがとうございました。大切にさせていただきます。

(平成26年11月～27年10月)

上村 俊次 様
大辻 啓夫 様
蒲田 勝 様
常 楽 寺 様
吹田 良忠 様
株式会社 西村信天堂 様
京建労右京支部支部長 井上 豊 様

133名・1団体に表彰状授与

長年にわたり右京区の地域福祉に貢献いただいた方々の功績を称える「右京区社協会長表彰」が9月25日（金）ANAクラウンプラザホテル京都にて行われ、学区社会福祉協議会をはじめとする民生児童委員・老人福祉員、社会福祉事業関係団体功労者ら133名1団体に表彰状が授与されました。受賞されました皆様、おめでとうございます。



高齢者・認知症の2つのテーマから今後の地域福祉活動を考える

9月25日（金）にANAクラウンプラザホテル京都にて、第27回右京福祉のまちづくり学校を開催しました。社協、民生委員、関係団体、福祉施設、行政関係者あわせて約200人の方にご参加いただき、関係機関からの情報提供と地域からの実践報告をもとに、誰もが気軽に集える居場所づくりから些細な困りごとや不安を抱える人たちを地域で支えるしくみについて探りました。

情報提供1：

高齢者行方不明が増加

右京区の現状を確認

溜 敦 氏

（京都府右京警察署生活安全課生活安全係長）



警察の仕事の中には、犯罪を犯した被疑者を捕まえる仕事の他、「家の方がいなくなりました」という行方不明者、「道で人が倒れています」という保護を取り扱うのも大きな仕事の一つです。その中で、今回は警察として取り扱う行方不明者と保護の取扱い者について情報提供をお願いしました。

「まず、右京区管内で取り扱う行方不明者届の受理状況は、年間およそ120～150件の行方不明届が提出されています。これは、家族の方からの届出が基本的な取り扱いとなりますが、そのうち、65歳以上の方が全体の3割を占めています。さらにその中の約7割は認知症と思われる方と統計からわかりました」と驚くべき報告。一方、警察のパトロールによる発見や民間の方から通報による保護取扱い件数は、「平成27年1月から8月末時点で222件、そのうち半数以上は認知症を理由に保護されています」と右京区の現状について情報提供がありました。そして、認知症の方を抱えるご家族の方には、「いつも身に付けられる持ち物（靴や杖、肌着など）に名前・住所・電話番号を書いていただくなど、一つでも情報が多いとすぐにご家族方に連絡ができるので助かります」とアドバイスをいただきました。

情報提供2：

医療の現場から見た「認知症」

伊藤 照明 氏

（右京医師会在宅医療推進委員会イトウ診療所医師）



年齢別の認知症の割合をみると、75歳を過ぎてから認知症は非常に増える傾向にあります。通常、普通の物忘れと認知症は鑑別しないといけませんが、大きくくるとしては75歳を越えたら老化現象の一つとして認知症をとらえることもできると考えます。右京医師会において認知症相談機関のリストを2年前に作成しました。会員を対象にした

手あげ方式で区内47の医療機関が掲載されていますが、認知症診療の難しい点は、問診が難しいこと、高血圧や糖尿病の診断のように数字で正常と病気の境目が決定されておらず診断が難しいこと、根本的な治療薬がないこと、医療だけでは解決できないこと、などがあげられます。

最近、医療の現場からみていて気になるのは、認知症になることが怖いというマイナスイメージがメディアを通して頻繁に取り上げられていることです。どうしても生活していく中で嫌なことや辛いことはあるのですが、その部分をリセットできる（嫌なことを忘れて穏やかに生活できる）という利点があります。そのことで穏やかに年をとれる人がいます。またそのような方は、認知症の本人が現状を受け止めておられるのが大きな特徴だと思います。家族もできるだけプレッシャーをかけずに受け止めていただきたいと思います。

2つの関係機関からの情報提供を受けて、右京福祉のまちづくり学校の進行役を務めた山岸孝啓氏は、「認知症の方の場合、ご自身の名前は言えるのですが、お住いの住所とか言えない人が多いと思います」と、施設の現場からみた認知症の方の特徴を述べられました。また、民間通報による早期発見の件数が多いことに注目され、「タクシーのドライバーやコンビニの店員さんからも積極的に声をかけてもらったり、地域の方々には、町で困っているのかな・道に迷っているのかなと思われる方がおられたら、まずは声をかけることがやはり大事ですね」と参加者と確認しました。

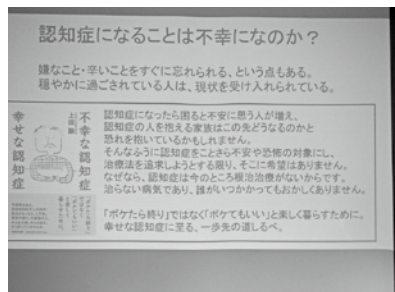


ファシリテート

山岸 孝啓 氏

（嵐山寮特別養護老人ホームうたの・嵐山寮特別養護老人ホームひろさわ施設長）
（一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会 会長）

後半の2つ地域からの活動報告で共有していえるキーワードは、「お節介」ではないでしょうか。節度をもって介入をするいい意味での適切な世話焼きをしてくれる・気にかけてくれる人や組織が地域には必要だということがわかりました。活動報告1では、これまでのマンションや民家でしたら「新聞がたまっているよ」、「庭の草木が手入れされていないな」など外からも状況が見えるのですが、セキュリティが整っているマンションでは情報が掴めないといった問題に対しての工夫やアイデア



活動報告1：

マンション・集合住宅に暮らす 要配慮者情報を掴むには

宇野 眞理子 氏

(太秦学区民生児童委員協議会 会長)



**認知症を含む要介護者
集合住宅・マンションの中
の情報が手に入らない。**

2005年以降、太秦学区には、最新の設備でバリアフリーやセキュリティが整った大きなマンションが次々に建設されました。新しく建ったマンションには、30～50代くらいの方々が多く移ってこられるのではないかと想定していましたが、実際には、お一人暮らしの高齢者や高齢のご夫婦で移られた方も多く見受けられました。当時、民生委員として活動をしていく中で、マンション内に配慮が必要な方がおられるということくらいは情報として掴むことはできましたが、マンションのセキュリティが固くなったことで、なかなかお会いしお話しすることもできないといった問題が浮上してきました。

優秀な人材はマンション・集合住宅にもたくさんおられる。

住民ひとり一人の相談に対して必要な援助をおこなう私たち民生委員にとって、マンション・集合住宅で暮らされる方の必要な情報が掴めないという問題に対して、何度も地域の関係者と話し合いを続けていく中で、新しく建設されるマンションには、地域の様々な活動をお知らせできる環境を整え、マンションで暮らされる人たちの中から民生委員すなわち地域支援者を発掘していくことに力を入れました。

外部の人がマンション内の掲示板に地域活動のチラシを貼らしてほしいと言っても、管理人さんは「管理組合に尋ねないとわからない」など二の足を踏まれますが、マンションの住民の立場から働きかけると、管理人さんとの連絡調整もうまくいくことがわかりました。そのような

中で、お子さんと地蔵盆や地域の活動に参加されたり、若いお父さんが地域の活動を手伝ってくれたり、小学校のPTAの役を終えられた方が引き続き地域と関わっていただいたりと、地域を共に支えていただける優秀な人材がたくさんおられることがわかったことはとても大きな収穫でした。これらの経験から、太秦学区ではマンション内に民生委員(地域支援者)を確保することに成功し、おかげで、高齢者を含めた要配慮者の把握が難しいと敬遠されるマンションでの見守りと声かけを積極的に行うことが可能になりました。

活動報告2：

要配慮者の些細な困りごとを 地域で支える仕掛け

高岡 宏行 氏

(南太秦社会福祉協議会 副会長)



私たちの学区では、平成21年1月に小学校のふれあいサロン教室で3世代ふれあいサンデーモーニングという事業を毎月2回の日曜日を利用して活動しています。早いもので7年目になります。地域の皆さんが気軽に集まれるこの居場所に参加される高齢者の方から「昔はできたのですが、最近□□なことで困っています。手伝ってくれませんか?」、「○○さん。やってくれませんか?」と相談を持ち掛けられることも少なくありません。例えば、「電球の交換をしてほしい」、「重たい家具の移動」、自宅から少し離れたところにゴミを出さなければいけないという地域の方からは「ゴミ出し」のお手伝い等、本当に些細なことでお困りの高齢者の皆さん方の胸のうちの伝えられるとなかなかじつとしていられず、なんとか南太秦社協でこの「愛のつながり」生活支援活動をしなればと痛烈に感じました。そして、27年4月の活動のスタートを目指して、地域の団体間で何度も話し合いを重ねてきました。話

し合いの中で最も時間を費やしたのは団体間における役割を明確にすることでした。まず、社協は、社会的孤立を防ぎ、地域で誰もが気軽に集える居場所をつくる役目があり、この生活支援活動は社協が先導を切ってやっていくべきという思いが私にはありました。そして、民生委員・老人福祉員の方々は、高齢者の皆さんと顔をあわされているという接点を活かしていただき、相談に応じて必要な援助をしていただきたい。そして、自治連は活動を担うサポーターを募り、担い手として活動に参加していただくことの役割整理をしました。そして、26年12月に自治連を通じて学区住民に支援サポーターを公募したところ、50名もの方がサポーター登録をしていただけました。これだけの人たちが活動に賛同し、必要な時には力を貸していただけるのだということにとっても嬉しく感じました。

一方、27年3月には、学区内の75歳以上の高齢者世帯、そして60歳以上のお一人暮らしの方を対象に生活支援活動のお知らせしたところ、約150世帯からの申込がありました。正直、本当にこれだけのたくさんの皆さんが反応を示していただいたことにびっくりしましたし、それだけ高齢者世帯・独居世帯の皆さんが、些細なことで悩んでおられる、困っておられるのだということが改めてよくわかりました。

その後、登録いただいたサポーター方には、研修会とボランティア養成講座を開催させていただき、当初の予定どおり27年4月1日より南太秦学区での「愛のつながり」生活支援活動をスタートすることができました。

現在、南太秦学区の高齢者世帯は150世帯、独居世帯は163世帯、80歳以上の皆さんの数は215人(4月1日現在)ものご長寿の皆さんがいらっしゃいます。誰もが長生きをして、それも健康で長生きをしたいと皆さんは思いだと思います。その想いに寄り添うかたちで些細な困りごとにもみんなで支えたいと少しでも地域の皆さんの想いに寄り添えるようこれからも頑張りたいと思います。

をお話しいただきました。おそらく、セキュリティが整っているところにお住いの人たちの中にも気になるお年寄りの方もおられるでしょうし、あるいは身体の状態が悪くなり、認知症ができてSOSが必要な人もおられるのではないのでしょうか。そのような場合を想定して、地域支援者の見守りの目を入れようとされている報告は素晴らしいと思います。おそらく、マンションで暮らされる多くの人は、福祉・医療の介入や地域活動へのお願いしても「いまは必要ないよ」と言われる方もいらっしゃると思いますけど、地域活動のご案内や誰どこに相談すればいいかといった情報をお知らせしておくことはとても必要だと思います。

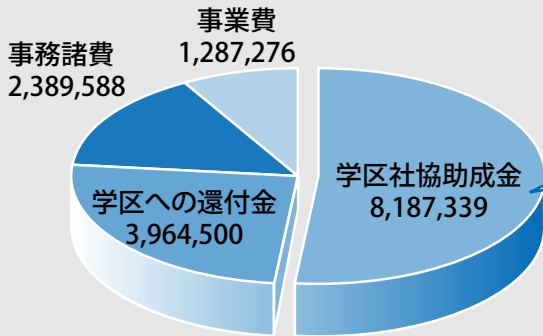
また、高齢者の生活に向き合いながら些細な困りごとを解決していくしかけのご報告では、「身近な地域に相談できる体制を作る」ということとても大事だと思います。そこでは、やはり困った時には、近所の人たちが頼りになるよということですね。「困った時には私たちがついているよ」、「何かあれば気軽に相談してよ」と実感できるしかけは必要だと感じました。ある地域では、40代くらいの方が地域に貢献したいのだけど動くことが少ないという話をよく聞きます。このことから、機会を求められている人たちの力をうまく引き出すためにも、活動を広くPRすることに加えて、「この指とまれ」と呼びかける機会をつくる取組みも必要かと思いました。

最後に、山岸氏はふたつの活動報告を通じて、「適度なお節介と気にかけることはとても大事です。まわりと連携しながらすすめる行動力と、強いリーダーシップをもって、地域を引っ張っていただきたい。みんなの力で“見て見ぬふりしない”社会をつくりましょう」とエールを送りました。

みんなの力が右京区を 元気にする◆賛助会員制度◆

右京区社協では、区民の皆様のご理解と参加・応援のもとで、区社協と学区社協が取り組む地域福祉活動を充実させるため、賛助会員を募集しています。賛助会員とは、社協活動の目的に賛同し、区内の地域福祉活動を財政的に支援いただく「地域福祉の応援団」です。

《平成26年度 賛助会費の使途内訳》



■学区社協が実施する主な事業

- ①在宅老人ふれあいまちづくり事業
(会食会・茶話会、配食サービスなど)
- ②障害者地域交流事業
- ③寝具クリーニングサービス事業
- ④広報誌発行事業
- ⑤ボランティアスクール
- ⑥介護者家族懇談会
- ⑦地域まつり・福祉大会
- ⑧子育て支援活動推進事業
- ⑨学区社協重点活動プラン

平成26年度 賛助会費募集実績一覧

学区名	世帯数	賛助会費 (円)
太 秦	8,556	2,338,600
南 太 秦	2,256	509,000
常 磐 野	6,161	800,900
安 井	3,216	844,450
嵯 峨 野	6,352	941,530
山 ノ 内	5,165	750,900
西院第一	4,983	540,861
西院第二	7,987	828,500
梅 津	4,998	611,200
北 梅 津	3,884	734,600
嵯 峨	5,001	1,478,500
広 沢	3,234	733,000
嵐 山	3,861	411,500
水 尾	24	17,000
宕 陰	77	70,000
花 園	2,740	673,200
御 室	4,057	921,662
宇 多 野	3,948	540,000
高 雄	876	482,500
西 京 極	8,553	730,800
葛 野	5,961	432,000
京 北	2,113	438,000
合 計	94,003	15,828,703

※世帯数は平成26年11月1日現在

平成26年度 賛助会員募集 ご協力いただきありがとうございました。



子育てサロン



福祉まつり

今後2力年かけて取組みすすめます 学区社協の◆重点活動プラン◆

2015(平成27)年度～2016(平成28)年度

「誰もが『ひとりの人間』として尊重され、安心して暮らせるまちづくり」の実現を目指して、学区社協ごとに今後2年間の重点活動プランを策定しました。プランの達成に向けて、学区社協では計画的に地域福祉活動をすすめていきますので応援よろしくお願いします。

重点活動プラン

太 秦	学区の多くの皆様が連携したなかでの居場所づくりと見守りを続けていきます。
南 太 秦	南太秦生活支援活動「高齢者支え合い 助け合い 愛のつながり」の実現に向かって地域力を活かします。
常 磐 野	孤立をなくす地域力、街づくり、見守り、声かけ、お手伝い、老々世帯へのおしゃべりカフェへの参加呼びかけ訪問を行います。
安 井	前期重点プランの一層の充実を図ります。介護予防体操にも力点を置き、元気で楽しい安井づくりに力を入れます。
嵯 峨 野	子育て世代との接触機会を増やし、地域の関心度を高め、地域行事への参加を促進します。
山 ノ 内	認知症の増加や更なる子育て支援に向けて、町内毎の福祉ネットの一層の強化を図ります。
西院第一	ふれあい事業や見守り活動をととして、「めぐり委員」の子ども達と共に、小学生の福祉活動を実施します。
西院第二	地域の安心・安全のため、福祉見守りマップを作成し、全戸配布します。
梅 津	災害時学区内での連絡体制を密に整え、町内会長の協力を得て、要配慮者の把握と名簿作成に努めます。
北 梅 津	災害時要配慮者支援に重点をおき、水災害を想定した避難所運営訓練に取組みます。
嵯 峨	地域の方々の参加と応援を得て、福祉活動の仲間を増やし、各種団体とも連携を密にして、地域が一体となって実効のある事業に取り組めるよう努めます。
広 沢	高齢者のニーズに対応した事業の拡充、さらに開発を図るために、役員後継者の育成に取組みます。
嵐 山	すかやかサロン事業について、広報の強化を図り、参加者の増加に努めます。
水 尾	高齢者が住み慣れた地域で孤立することなく、安心して過ごせる見守り等の活動を展開します。
宕 陰	宕陰地域活性化事業(空き家対策)について地域全体で取組み、まちづくりを進めます。
花 園	学区社協広報紙を活用し、福祉ボランティア(新規)と共に、高齢者の居場所(サロンなど)づくり、見守り活動をすすめます。
御 室	高齢者が孤立しないよう、地域の絆づくりを強化するため、「ふれあい」行事への参加者増加対策に取組みます。
宇 多 野	高齢者の居場所づくりの充実と、そこに来られない配慮が必要の人にもよりよえる見守り活動や福祉相談の出前等を重点に取組み、老後も安心して暮らせる地域づくりを目指します。
高 雄	社協活動の担い手を増やし、様々な活動を通じた高齢者の見守り活動をさらにすすめていきます。
西 京 極	各地災害ボランティアの参加及び災害ボランティア訓練と研修会への積極的参加を行います。
葛 野	いつまでも住み慣れた地域で生活できるよう、高齢者の介護予防の取組みを充実します。
京 北	誰もが支え合い、暮らしの向上につなげられる活動をすすめます。

平成27年度も賛助会員募集を行います。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

右京区ボランティアセンター

<http://www.ukyoku-syakyo.net>

ボランティアに関する相談はこちらまで!

月～金曜日 9時00分～17時00分

TEL075-865-8567 FAX075-865-8569

(夜間、土日祝はFAXで可)

[ボランティアグループ活動紹介(京北)] コスモスグループ(声の広報ボランティア)

コスモスグループは、視覚障害者に行政等から発行されている情報を朗読し、カセットテープに吹き込み発送する活動をされています。年12回。年1回程度利用者の方と交流、意見交換を開催しています。

広報を朗読、カセットテープに
吹き込み活動中の様子



右京区災害ボランティアセンター 設置運営訓練のお知らせ

11月22日京北地域で実施されます区総合防災訓練にあわせて、区災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施します。災害ボランティアセンターとは、大規模災害時のボランティア活動拠点として設置され、区災害対策本部や地域と連携を取りながら、被災者の困りごとの把握、ボランティアの受入及びコーディネート等を行います。

今年は、昨年8月の京北地域における豪雨災害時支援で課題となった山間地域の連絡通信手段の確認、及び災害時要配慮者支援訓練を実施します。発災時はまず身の安全確保、家族の安否確認をし、近隣の要配慮者への声かけをすることで、最小限の被害に抑えることができます。日頃から近隣にお住まいの配慮が必要な方の把握および絆づくりにご協力ください。



1. 災害ボランティアの登録
- 2., 3. 災害ボランティアによる要配慮者宅への安否確認
訪問と避難誘導訓練

(いずれも、26年11月30日右京区総合防災訓練での
右京区災害ボランティアセンター設置運営訓練の様子)



右京区ボランティアグループ連絡会 「一緒に活動しませんか？」



右京区ボランティアグループ連絡会は、区内で活動する14のボランティア団体で構成され、ボランティアグループ間での情報交換や区社協と協働してボランティア入門講座の開催、また、イベントに出店してボランティア活動の広報啓発を行い、社会福祉の向上に努めることを目的に活動しています。地域のなかで、誰かのために、自分のために、気軽に楽しいボランティア活動を始めてみませんか？



(故) 原 健 前会長を偲んで

平成27年5月30日(土)、ANAクラウンプラザホテル京都において、(故)原健前会長のお別れ会を関係各位多数御参列のもと、執り行いました。

原前会長には、京都市における社協の発展のため、長年にわたり一方ならぬ御尽力をいただきました。その温かなお人柄に多くの方々が信頼を寄せ、共存共栄の福祉のまちづくりに共に邁進してこられ、その御功績御栄誉は実に多大でありました。

今日まで築いていただいた支え合い助け合う福祉の風土を、今後とも微力ではありますが一層進展させることをお誓い申し上げ、原健前会長に心からの感謝を捧げ、お別れ会のご報告並びにお世話になりました区民の皆様へのお礼にかえさせていただきます。



京都市うずまさ学園

☀夏祭り開催☀

8月7日、日頃の仕事の労をねぎらい、夏祭りを開催しました。普段と違う雰囲気、開始前からソワソワされる方も大勢いました。

開催とともに各ゲームコーナーには人だかりが(笑)。園内4か所のポイントを回ってシールを集める「ポイントラリー」、水を張った水そうに沈んだ器を目指して1円玉を落とす「コイン落とし」の新ゲームがありましたが、どちらも難しさがあり、それが楽しさをより増していました。

ゲームで体を動かしたあとは、NPO法人「音の風」様によるミニコンサート。楽器も使ったり、歌を口ずさんだり。音に楽しく親しむ時間となりました。

最後に抽選会もあり、番号の発表のたびに歓声と悲鳴があがり、大いに盛り上がりしました。

今回、多くのご家族や関係者の方に参加いただき、共にとても楽しい時間を過ごすことができました。

あっという間の2時間、最後は皆さんいい表情で散会となりました。



☆コイン落とし

3回落としたけど、1枚しか入らなくて難しかった。(Yさん)



☆抽せん会

2等、保冷付きマグカップ当たりました!!

京都市太秦障害者デイサービスセンター

一日外出行事!!!

☀「晴れたらいいね! トロッコ列車に乗って 楽しい気分でランチしよう!」の会☀

8月下旬に今年度第1回目となる自治会行事を、3日間に渡って実施しました。猛暑が続く中、嵐山トロッコ列車に乗って緑豊かな自然を感じてきました。

利用者さんは、久しぶりの外出行事にテンションが高く、早く乗りたい! とばかりにホームから身を乗り出して汽車を待っていました。保津川や山々の美しい自然に目をとられながら、保津峡駅に現れるかわいいタヌキに手を振ったり、トンネルの中のごう音にビックリしたりと、終始笑顔いっぱいの車内でした。

ランチは、去年の旅行でお世話になった「ホテルピナリオ」で、おいしいご飯を食べました。トロッコ列車や食後に買うお土産の話などで盛り上がりしました。

台風が接近している中、3日間とも雨に降られることなく、楽しい夏の行事になりました。



「アイスコーヒー飲みたいな!」

(この掛け声で写真を撮りました)

～夏の思い出・JR西日本トロッコ嵯峨駅前SL広場にて～

日常生活自立支援事業

生活支援員を募集しています

「福祉サービスの利用を手伝ってほしい」「日々の金銭管理ができなくて困ってる」「郵便物の整理を手伝ってほしい」そういった悩みを持っておられる方々のお手伝いをしています。

そのようなお手伝いをしていただける生活支援員を募集しています。関心のある方はお気軽にお問い合わせください。

【お問合せ先】 右京区社協 電話：075-865-8567

認知症サロン

「おれんじサロン右京」 参加してみませんか?



「高齢者の約4人に1人が認知症の人もしくはその予備軍」と言われています。

近年、認知症の人同士やご家族の方が集まれる居場所づくりが広がっています。

区社協では、本人と家族の居場所として、毎月1回のサロンを開設しています。

【開催日】 第3火曜日

13時30分～15時00分

【お問合せ先】 右京区社協

